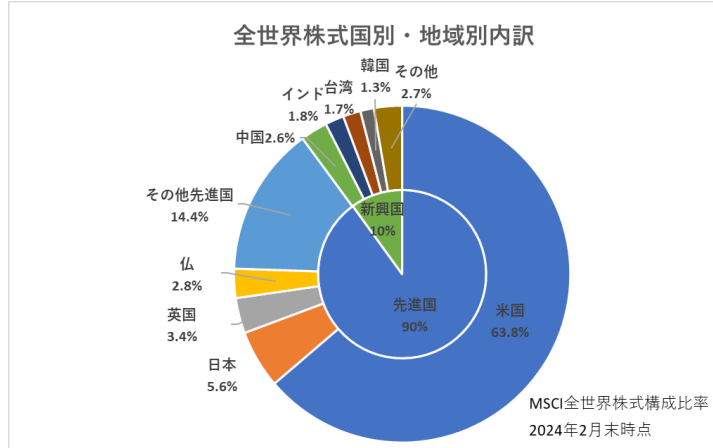


## ATTENTION

### 新NISAをきっかけとする外国株式投資は、ほんの始まりに過ぎない



この円グラフは、MSCI全世界株式インデックスといい、全世界の株式を、国別に時価総額比で構成したものです。最近よく耳にする「オルカン(オールカントリー)」がこれに当たります。これを見ると、米国の比重が64%と圧倒的に大きいです。一方で、中国は、ほんの2.6%。さらに、日本は、先進国の中では2位を保っていますが、わずか5.6%。米国の10分の1以下です。新NISAが始まり、個人のお金が大きく海外に向かい始めたと言われてはいますが、日本の個人金融資産のうち外貨建て資産はいまだに、たったの4%程度。個人金融資産の5割超が円の現預金であることを考慮すれば、うなづけます。株式投資は、理論的には、時価総額比で投資するのが、理にかなっています。ということは、株式投資は「日本は5.6%でよく、残りは世界に」ということになります。GPIF(年金積立事業団)は、株式は日本株25%、外国株25%としていますが、これでは、日本株が多すぎるのです。これは、典型的なホーム・カントリー・バイアス(国内過重傾斜)。新NISAを契機とした外貨資産シフトは、始まりに過ぎないと見ておくべきです。現在、一時的に円高になっていますが、こういった個人マネーの潮流から行けば、海外資産へのシフトの動きは今後加速し、大きな円安圧力となります。政府、企業とも国内投資の魅力をもっと打ち出さないと、個人マネーはますます、海外に向かっていくでしょう。

## COLUMN

### 肥満治療薬が経済を変える

面白い記事がありましたので、紹介しましょう。「肥満治療薬が経済を変える」というのです。デンマークのノボ・ノルディスクが開発した肥満治療薬オゼンピックが米国経済を様々な方向で変えるというのです。米国人のうち、半分が肥満とされ、この肥満治療薬は、ゲームチェンジャーになるとのこと。すでに、この治療薬は当局によって認可され、市場に出回っています。そしてそれが、消費者行動や企業に大きなインパクトを与えているというのです。たとえば、航空会社。乗客の体重が減れば、燃料コストをかなり抑えられる。60キロの人と180キロの人の料金は変わりませんが、180キロだと、60キロの人2人分増えて、燃料コストは増します。体重が減少してくると、食生活も変わり、食事の量や飲酒が少なくなり、食事が安くなる。その代わりに、ライフスタイルや健康に気をつけるようになる。それが、長い目で企業の生産性が向上させ、長く働け、健康で長生きできる社会が実現する。すでに肥満治療薬による治療で、アルコール、たばこ、麻薬性鎮痛薬の摂取が減ってきているとのこと。ただ問題はコスト。米国では、糖尿病治療以外では、1,000ドル/月かかるそうです。一方、日本でもオゼンピック注射薬は既に発売されていて、やせたい人ならだれでも処方してもらえるわけではありませんが、保険適用で、月当たり自己負担は12,890円と、意外に負担は少ないようです。また、オゼンピックの成分と同じ飲み薬リベルサスがあり、保険適用外で10000円/月未満で処方されているとのこと。

How Ozempic could change the economy as we know it-Business Insider

## MARKET

	(9月末)	(8月末比)
日経平均	37,919.55円	-728.20円 (-1.88%)
NYダウ	42,330.15ドル	+767.07ドル (+1.85%)
米ドル	143.65円	-2.60円 (-1.78%)

## 私の書棚より

金持ちになることと金持ちで居続けることは、二つの別の技能である。

-サイコロジー・オブ・マネー  
モーガン・ハウセル著

## 『本を読む本』 アドラー&amp;ドーレン著を読んで

私にとって読書は日課ですが、読書をもう一度見直すのもいいと思い、読書法の古典というべき本を読んでみました。かなり体系だっていて、その体系が入り組み過ぎて、なかなか消化できない面もありますが、自分なりに「読書法」を振り返るには、よい機会になりました。なお、以下に上げたポイントは、著書の全体を表すというより、ポイントをピックアップしたという形です。

## 本を前にして、まず行うこと

1. 表題や序文を読むこと
2. 本の構造を知るために目次を調べる
3. 索引を調べる
4. カバーに書いてあるうたい文句を読む
5. その本の議論の要と思われるいくつかの章をよく見る
6. ところどころ拾い読みしてみる

## むずかしい本を読むとき

むずかしい本に初めて取り組むときは、とにかく読み通すことに心がける。すぐには理解できない箇所があっても、考え込んだり語句調べに手間取ったりしないで先に進む。理解できることだけを心に留め、難解な部分は飛ばして、どんどん読み続ける。木を見て森を見ない愚を犯してはならない。自分の力以上の難解な本に取り組まねばならない。こういう本こそ読者の心を広く豊かにしてくれる。心が豊かにならなければ学んだとは言えない。

すぐれた読者は、自分に多くを求め、積極的に努力して読むものだ。そしてすぐれた書物ほど、読者の努力に応えてくれる。読者にとってむずかしいすぐれた本は、永遠

の真実を深く認識できるようになるという意味で、読者を賢くさせてくれる。

## 文学を読む

文学は楽しませるものであって、読者に教えるものではない。読者にとっても、教えられるより楽しむ方が、はるかにやさしい。小説は一気に読むものである。速く読むこと。そして、作品に没入して読みふけること。速く読まないで、物語の統一性が見失われやすい。集中して読まないで、細部が目に入らない。小説は人生のようなものだ。詩を本当に理解するには、繰り返し繰り返し読まなければならない。すぐれた詩は、読めば読むほど尽きぬ泉のようなもので、何度読み返しても味わい尽くせるものではない。その詩から離れている間でも、読んだことによって、知らず知らずに、多くのことを我々は学んでいるのである。

## 読書の意味

人間の精神には一つの不思議な働きがある。それはどこまでも成長し続けることだ。これは、肉体と精神の間違った違いである。肉体には様々な限界があるが、精神には限界がない。人間の肉体は、30歳くらいまでをピークにしないで下降線をたどるものだが、精神は、ある年齢を境に成長が止まることはない。精神の鍛練を怠ると、「精神萎縮」という代償が待っている。すぐれた読書とは、我々を励まし、どこまでも成長させてくれるものなのである。

読書は、人間にとって様々な面で深いものがあります。「読めば読むほど尽きぬ泉」です。

## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に勧めるのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス

代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

電子メール：info@bfsc.jp